



私は今、かなり「ネット生活」にはまっている。例えば、本を購入するにもネットをフル活用している。

まず、読みたい本があったとする。書籍のホームページ(HP)上の世界的な販売シニアを持つ「アマゾン」(<http://www.amazon.co.jp>)のページを見に行く。作家やタイトルを頼りに検索する。

ここで便利なのは、単に検索するだけでなく、その作家の「売れ筋順」、発売順などの表示も見ること

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

とができるため、関連した本も見えてくることである。また、目次やレビューやカスタマーレビューを見ることができ、本屋の立ち読み並みの手軽さで内容を知ることができる。私はユーザー登録をしているので、ワンクリックで簡単に購入手続きが

らである。アマゾンで内容の確認はできているが、購入前に本当に買うに値するかどうか、図書館の本で確かめたいためである。ケチと思われるかもしれないが、本好きの私はいきなりなっていると、アツという間に月の本代が何万円にもなってしまうし、収納にも

つたり、保存版で残しておきたいものは、すぐにアマゾンで購入する。また、プレゼントやこだわりの購入は「楽天」(<http://www.rakuten.co.jp>)などのHPで済ませている。

買い物に行くのはどうしても時間が取られるし、目

ネット生活

済む。送料は千五百円以上(現在)無料なので、送料が負担になることもない。

しかしながら、すぐに購入手続きを取らない。隣のコンピューターで金沢市立図書館のHPを開く。今年一月からHP上で検索予約ができるようになったか

困る。そこで、図書館のHP上から、予約を入れる。各所にある図書館の受取場所の指定もでき、予約順もわかるので、人気のある本も読むスケジュールと順番を見て予約を入れている。

こうして、いったん読んでみて、書き込みをしたか

的のモノが見つからない場合もある。それに比べ、HP上では目的のモノが見つからないという事は、まずない。かなりオリジナリティーのあるモノが見つかる可能性が高い。どうして地方では需要の関係からか、ユニークなものが増えている。欲しい商

品と金額で検索し、到着時間からメッセージ内容のしに至るまですべて指定できる。

こういった購入は、入力ミスなどで危険性があるのではないかと心配される方もいるだろうが、必ずメールで発注内容の問い合わせが来るため、間違いが起ることは、まずない。

オークションや共同購入もあり、こちらでは手に入りにくいモノでも、欲しい価格で手に入る。

しかし、ふつと感じるのは、対面販売が大きな曲がり角に差し掛かっているのではないかと、このことである。このようなネット社会の中で、従来の対面販売がいかに生き残っていくのか、大きな課題になっている。

読む まゆみ

「昨今、心が疲れている人が非常に増えているような気がする。」
 IT化により、激変する世の中。これまで信じて、守られていた「文化」「常識」「雇用」「家族」の形態が、ここ数年で一挙に流れを変えた。それにより、これまで描いていた将来像が見えなくなっただけでなく、今、自分がいるところすら、いつ晴れるとも知れぬ濃い霧の中である。そして現在、うつ、引きこもり、登校拒否、暴

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

力が、私たちの生活に頻りに登場し、一九九九年の自殺者がなんと、約三万三千人。一日九十人と、交通事故死を上回る時代になつてしまった。多くの人が、心の渇きを訴え、自分自身を見失い、先行きに不安を感じている。

こういつた時代の中で、仕事柄多くの人に出会う私は、「人間の心」に関心をもち、ライフワークのひとつにしている。

先日、富山県で開催された「日本交流分析協会 北陸支部 特別講演」で、現代病と言われる「人の心の疲れ」に対して、私が引っかけかかっていたものが、すっかり心地よくなる瞬間があった。

講演の内容は、「なぜ、自分らしく生きられないのか」や、「人生脚本から見えた視点」ということで、十歳までの両親との人間関係の中の「幼児決断」が重要な人格形成を担うが、もし、その人らしく生きる

禁止令」が、中途半端な社会人をつくりだしているというお話を、実例を基にわかりやすくお話しただいた。

協会の会員でもあり、当日世話係の私は、特別講演の講師で、ルーテル学院大の学教授 臨床心理士でもあ

自分らしく生きるとは

ことを防いでしまうようであれば、「再決断」をすることで、自分らしく生きることが可能になるということ。「パラサイト・シングル」で見られるように、親からの「成長するな」という「禁止令」が、依存を生み、相反して「成長しろ」という「ドライバー」(拮抗

る白井幸子先生のおそばにいたことができたため、講演終了後、「今日、来られた皆さんに一番伝えたいことは？」と、先生に聞いてみると、「自分の欠点も長所も含め、すべての自分を受け入れ愛しましなう。自分を認め愛せる人は、他の人も受け入れ愛するこ

とができます。逆にこのことができない人は、他人の欠点を受け入れられず、愛することもできません。いっけん簡単なことだけれど、このことをIT化をベースとする急激な社会や環境の変化の中で翻弄され、忘れてしまったからこそ、心が疲れ、心の病が増えてきて、考えられないような

事件が頻発することに結びつけているのに、いまさらながら教えられた。

交流分析(TA)は「あなたもO・K、私もO・K」という人間尊重の理念に基づいている。いかに現代の人は自分自身を見つめる余裕がないか、また、個々の環境の多様化で、相手を知

り、相手には相手の立場や考え方があつたということを考えて能力が欠落していることを、学ばば学ばほど教えらる。

帰りの高速道路を運転しながら、日ごろ大きく鳴らしている音楽も止め静寂の中「自分らしく生きる」とは、を考えながら、フロントガラス越しに見える真っ赤な夕日同様、フツフツと活力がわいてくる自分がいた。



交流分析(TA) アメリカのエリック・バーン博士によって創案された、よりよい人間関係を築くための人格理論。日本交流分析協会は、ノンクリニカル分野での気づき、自律心、生きがいを求めて交流分析を学ぶ場を提供しているNPO法人の教育団体。



なぜ、大学に行く必要があるのか？
 本当に向学心を持って大学に行っている学生は、どれだけののだろうか？
 現在、少子化が進む中、大学の存続や運営に大きくメスが入れられている。今こそ、「本来の大学のあるべき姿」を、ただす時ではないだろうかと思われる。
 正直なところ、私は大学受験に失敗し、残念ながら門をくぐってはいない。
 しかしながら、ここ数年非常に興味のある分野ができ、専門に研究し、なら

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

かの形にまとめたいという希望が湧きおこっている。そこで、今の自分の環境で通うことのできる付記した条件の大学を探してみた。
 ▼一般入試ではなく、社会人入試がある▼夜間や土、日でのカリキュラム▼大学院も同様のカリキュラム方式で併設▼通学可能な場所にある
 数校はかろうじて条件をクリアできず

社会人大学

てい。大学によっては、通いやすいように郊外の本校ではなく、都市部の便利なところに、サテライト校を設けているところもある。
 社会人大学生の希望が急激に増えた理由に、社会情勢が厳しくなり、いったん社会人となった人たちが、自己向上のために専門分野

めない。充実した講習にしようとするスクーリングとの併用になるが、年にあわせて三週間近く仕事を休み、交通費と宿泊費の負担を考えると、難しいと言わざるを得ない。
 義務教育と違い本来大学は学びたい専門分野を探求するために行くところであ

を割いてやってくる社会人学生は、学ぶ姿勢においても格段の違いがある。こういった学生が増えれば、必然的に大学内の雰囲気や、もちろん質が変わってくるのではないだろうか。
 現状では、地方で働きながら大学で自己向上をめざすのは、受け入れ大学側の開かれた体制を待つしかない。柔軟性のあるカリキュラムを生み出すには、費用面や講師陣の負担もあり、なかなか難しいだろうが、ぜひ、各大学の努力を切望したい。また、地方で大学への道をあきらめている方々は、あきらめずにこまめに希望大学の入学要綱をチェックされることをお勧めする。



自民党の野田聖子代議士が、「夫婦別姓」を可能とする民法改正案の国会提出を断念したという記事を読んだ。

「またか！」と夫婦別姓を以前から推奨する私としては、腹立たしい気持ちになる。平成八年に民法改正要綱で出されてから六年にもなるのに、いまだ士儀にも上がらせてもらえない。あんなに目玉の先生が女性の社会進出や少子化解消、老人の介護問題を真摯に捕えられているの

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

か、はなはだ疑問である。それも、「選択的夫婦別姓」の議案が、原則夫婦同姓として「例外的夫婦別姓」という形で、家裁に判断を任ずという、まるで、別姓はトラブル処理であるようなばかげた内容になっても、自民党内では理解されず、公の場で論議されるべき重要な案件にも関わらず、先送りが続いている。

夫婦別姓を考える

別姓を強制しているわけではない。希望や必要性のある人に「選択権」を認めることである。社会に出てそれなりの活動をしていけば、名前はイコール自分のブランドである。例えば、私の場合でも「萩原」と言えば、付き合っている人はバックグラウ

ンドを含めイメージしてわける。ところが、名前が変わっても、相手はこの誰か理解できず、へたをすれば電話口にすら出してもらえないかもしれない。これは、社会進出をしている女性への大きなブレイキである。事実、野田聖子代議士も福

離婚家庭への偏見につながっているともいえる。また、少子化で長男・長女での婚姻確率が増え、名前の相続が問題になっていく。先祖から継承されてきた貴重な名前が、時代にそぐわない柔軟性のない偏った法律のために消えていく。確かに通称もかなり認められる層は高く(六十一・七十歳)、別姓の対象者層(二十一・三十歳)は、半数以上が賛成である。

家庭の絆のシンボルが名前であるとか、夫婦別姓が家族の崩壊を招くという意見は、聞き方によっては、あまりに家族のつながりが弱いと感じる。名前ひとつで切れる関係なのだろうか？ その方が、重要な問題ではないだろうか？

時代は多様化している。その中で家族観も大きく変化しつつある。氏名は誰のものなのか？ 自己の人格の象徴としても、早急の議論の場においてほしいものである。それも、別姓の真の意味がゆがめられる妥協は避けて……。



家族や周囲の人が、目の前で突然倒れたり、事故に遭ったら、あなたはどうしますか。もし、蘇生法、止血法の救命手当や応急手当を少しでも知っていれば、全然違った結果になるかもしれないとしたり...

通常、三分以内に呼吸を再開しなければ、蘇生後に後遺症を残し、六分以上たてば心臓も停止し、蘇生が困難になるといわれている。救急車が通報を受けてから、現場に到着するまで全国平均六・一分(二〇〇〇年・消防庁)。到着まで

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

の時間との勝負が、生死や後遺症の有無を分けるといえる。

この間に人工呼吸や心臓マッサージを施せる人がどれだけいるだろうか。携帯電話ですぐ連絡が取れる時代でも、ほとんどの人は動揺しパニックに陥り、傷病者の状況などを的確に通報できない。また、救急車が到着するまで、消防署から手当の指示があっても、知識がなければ適切な対応は難しい。

ある人が「横断歩道に人が倒れていて、それなりに交通量があるのに、どの車も通り過ぎていった」と嘆いていた。思うに、何もできない自分がわかっていて、何かしてあげたくても、あきらめた人が多かったの

ではないか。それとは逆に先日新聞に、山で足の骨を折り動けなくなっていた女性を、たまたま通りかかった消防学校の生徒が、あり合わせのステッキやタオルで応急処置し、無事移送した記事が出ていた。それなりの知識があれば、誰でも同じこと

報時の口頭指導の試み(一九九九年・消防庁)などが開始されている。しかし、家族や周囲の人による施行率は九七年で16・9%に過ぎず、心肺停止者の80%以上は救急車が到着するまで、何の手当や処置もされず放置されている(九八年・消防

欧米では、「心肺蘇生法」は医師の知識というより、人間としての常識、あるいはマナーといった認識のようである。欧米に比べ蘇生法が普及していない日本の救命率は著しく低い。これらの改善のために、自動車免許取得者への講習や学校教育への導入、119番通

救命法を学ぼう!

に対して、秋田市13・6%(蘇生後社会復帰割合)と高くなっている(九七年・総務庁)。

十六歳以上は学校や職場、公民館などで、定期的な講習を義務付けるくらいに講習が必要ではないだろうか。金沢市議会議員の山野之義氏も昨年の議会連合審査会で「一人でも多くの市民に講習を

現在、救命や応急手当の講習会は主な消防署と日本赤十字社で開催されている。ある程度の人数がいれば、出張講座もしてくれる。秋田市では八人に一人が受講しているため、救命率(心肺停止患者一か月後生存確率)が全国平均2・7

うことが必要」と訴えている。これにより、金沢市の消防でも講習の増設と、それにとまなう養成員の増強も検討されていくのではないだろうか。

ちなみに私は、八月に三日間十八時間の日本赤十字社主催の救急員養成講座を受講してきた。皆さんも、ぜひ!



企業が次々に生まれてこ
 そ、日本の経済が成り立っ
 ていくのにもかわらず、
 日本にベンチャー企業が生
 まれにくくなっている。
 近年の統計によると日本
 の開業率は2・7%で、そ
 れに反して廃業率が3・2
 %とマイナスである。ちな
 みに米国では開業率が13・
 8%、廃業率が11・4%と
 活力が数字に表れている。
 イギリスの世界的な起業
 家と話をした時、彼が言っ
 たことがショックだった。
 「日本では起業家は育た
 ない。失敗すれば、『夜逃

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

げ、'心中'でしょう。そ
 れでは、思い切ったチャレ
 ンジはできません。若者の
 参入も少なすぎる。年齢を
 考えると、世界的な企業に
 育てるには時間が足りな
 い」

通常日本の起業家は、自
 分と親族が保証人になり、
 自分の家や実家を担保提供
 し、開設費用
 と運転資金を
 調達してい
 る。これでは、

失敗した時に『すべて』を
 失ってしまう危険性があ
 る。つまり、『無限責任』
 を経営者は負うわけであ
 る。こうなるとアイデアや
 技術はあるが社会的経験が
 ない学生が、企業を起こす
 ことはさむにむずかしい。

また、倒産・破産した経
 営者には、『落後者』の烙印

起業家が育たない日本

印が押され、金銭的な面も
 あり、復活のチャンスがな
 かなか与えられない。この
 点も日本で起業家が生まれ
 にくく、大胆な経営ができ
 ない理由の一つである。米
 国では一度失敗した人は色
 々な面で学習しており、二
 度目の失敗率は低いと逆に
 好意的にみられる。そのた

リターンでは、実績を持た
 ない起業家にお金は集まら
 ない。本来投資はハイリス
 ク・ハイリターンである。
 この対処には、投資家の起
 業家と事業内容への投資判
 断の目を養う事が、必須条
 件である。
 また、行政の支援も不可
 欠である。現行の補助金制

業三年内の税金減額や初期
 設備投資への償却優遇が考
 えられる。大学や大学院へ
 入学しての事業関連研究な
 どが、経費で認められてい
 ないことも疑問である。も
 つと産業を育成するための
 税制であってほしい。
 本来経営と出資は、分け
 るべきである。すべてを抱
 え込まされて

め米国では47%が再び事業
 を起こしているが、日本は
 13%にとどまっている。

度は、経営の勉強中で運営
 に走り回っている起業家に
 は、情報が入りにくく申請
 も複雑である。場合によつ
 ては専門家へ依頼しないと
 申請書作成が難しく、時間
 も取られる。もっと簡略し、
 その分第三者の認定チェッ
 ク機構をしっかりとさせれば

はあまりにも大きい。十六
 年前に起業家として踏み出
 した私にとっても痛いほど
 実感できる現実である。第
 二、第三の世界に誇る「S
 ONY」や「HONDA」
 を生み出す起業家が誕生
 し、元氣のない日本の経済
 に活気と夢を与えてもら
 いたい。

今のよう資金調達を銀
 行や親族・友人からではな
 く、投資会社や個人投資家
 からの調達の方向に転換し
 ていかなければ健全な経営
 がむずかしい。また、日本
 的投資のローリスク・ロー

度は、経営の勉強中で運営
 に走り回っている起業家に
 は、情報が入りにくく申請
 も複雑である。場合によつ
 ては専門家へ依頼しないと
 申請書作成が難しく、時間
 も取られる。もっと簡略し、
 その分第三者の認定チェッ
 ク機構をしっかりとさせれば

はあまりにも大きい。十六
 年前に起業家として踏み出
 した私にとっても痛いほど
 実感できる現実である。第
 二、第三の世界に誇る「S
 ONY」や「HONDA」
 を生み出す起業家が誕生
 し、元氣のない日本の経済
 に活気と夢を与えてもら
 いたい。



大手家電メーカーが経営の見直しによる九千人の人員追加削減を発表した。前年度を含めると三万一千人にもものぼるらしい。また、先日発表された政府のデフレ対策でも、不良債権処理が予想通り進んだ場合には、四十五万人の失業者や二百万人前後の離職者があるとの試算が、大手シンクタンクから予測値としてだされてきた。このことは、失業しなくても、子会社への配置転換や職種転換が頻発するということだ。

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

雇用者だけでなく、景気の悪化と不良債権処理にもなる。貸し渋りや貸しはがしにより、経営者も日々大きな不安を抱えている。

これらの不安を緩和するため、経営上や再就職の助成を含む多くの支援策も打ち出された。が、さすがに景気が大きく好転

する見込みのない現在、表裏の支援だけでいいのだろうか？

現況は、雇用者だけでなく、経営者や管理者も含め「ピンチ」の負担は相当なものである。現在、企業人向けのカウンセリング・プログラムを開設している私にとって、昨今の経済ニュース

は非常に気にかかるものである。

このような経済状況が続くと、ストレスレベルは大きく上昇し、それにもないうつ病、アルコール依存症、DV(ドメスティック

・バイオレンス)家庭内暴力など、こころの病(こ

いろ)それを物語るように、自殺した四十―五十歳代の男性の六割が、負債関係・事業不振・生活苦の問題とされている。

特に男性は、孤独や不安を一人で抱え込んでいる人が目立つ。そして、自分で処理しきれないストレスを

・イライラする・集中できない・食欲がない・酒量が増えたなどのシグナルがいくつか該当し、職場内でのストレスが通常以上にかかっている場合には、要注意である。

雇用創出や経済の活性化も重要であるが、「こころ」

企業人に「こころ」のケアを

のケアも忘れてはならない課題であることを

こころの過労)が顕著に増えてくる。最悪の場合には、自殺にまで追い込まれることもある。

自殺は一九九八年より増えはじめ、交通事故死の三倍にもなる三万人台で、ここ数年推移している。失業率と自殺率は如実に関連しており、平行して上がって

溜め込んでいることを自覚していない人や、ストレスを認めたくない人も意外に多い。こころや体が出している危険信号のシグナルを、当事者や周囲の人が早く気づき、病院やカウンセリングに通うなど、迅速で適切な処理が必須である。眠れない・疲れがとれない

「企業人に「こころ」のケア」を―の時代である。



最近、就職難やリストラ対策として、資格取得熱が高まっている。資格はスキル保証と、取得への勉強による能力向上があるので、必要である。しかしながら、いったん取得すれば、半永久的と言われる有効期限を疑問に思う。

私は、多少コンピュータ業界に関わっているが、この業界は資格花盛りである。次々に新しい技術が登場してくるからである。その余波で、ユーザーだけでなく社内でも、新技術がすっかり取得できているのかを把握できない。必然的に資格取得が、重要で明確

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

資格のスキル保証を考える

な技術証明書になる。ただし、他の資格と違うのは、資格に有効期限があるという点だ。それも、新技術の研修を受講すれば、更新というものはない。

皆さんがよくご存知のマイクロソフト社のワープロソフト・Wordで簡単に説明すれば、'98や'X

に資格認定そのものが無くされるものもある。私が今年の九月に取得した日本赤十字社救急法救急員の資格も、有効期限は三年である。実践で使わないと忘れるからということだ、そのたびにゼロから同じ研修を受講し、試験に受からなければならぬ。スキル保証には欠かせない措置もある。また、時代の変革

。何十年も前に取得した未使用資格を、そのまま履歴に記載していることに、疑問を感じるのは私だけだろうか？

スキルを保持していない人が、その資格で許可されている行動を取る事により、周囲に迷惑をかけるだけでなく危険をともなう可能性もある。また、時代の変革

と試験(資格者としてのスキル確認)を、積極的に検討すべきでないだろうか。こう書きながら、自分の持っている資格を考えてみた。堂々と言えるものは、いくつあるのだろうか？正直、寒いものがある。そう思う人も多いのではないだろうか。

資格を「取得した」と言うだけの時代は終わりにし、「現状スキル保証」という時代にならなければ、費用と時間をかけ一生懸命勉強し取得した資格は、自己満足の世界で終わってしまう……。

◇ ※MOUS(Micro Soft Office User Specialist)とは、マイクロソフトのOffice製品の利用能力を、証明できるマイクロソフト主催の世界共通資格試験制度。

P²なるバージョンが付記されているのはご存知だと思います。今や、就職必須資格のMOUS(※)で、Word98を取っても、どんなバージョンがアップしていく。そうすると、何年かすると資格そのものが陳腐化してしまう。IT関連の資格の中では、次のバージョンが出た段階で、シビヤ

置であると、一緒に受講した方々も評価していた。取得した知識を使わないと、資格は消えないが、知識は忘却のかなたへ行ってしまい役に立たなくなる。該当資格が生かされる現場にいても、これだけ世の中が激変してくれば、スキルそのものが時代にあわせて大きく変化していると言え

にあわせて向上努力している人との選別ができないように、スキル保持の意識を生み出しにくくなる。究極で言えば、資格そのものの意味がなくなる。信頼を確立するためにも、認定組織が三年から五年毎の更新(幽霊会員のチェック)と、付随して研修(時代に沿った知識取得)

読む ミソ

県庁跡地に「未来型図書館」の建設が予定されている。たしかに本多町にある県立図書館の建物は古くなり狭いため、県の図書館としては見直す時期であると思う。図書館をよく利用する私としても、待ち望むものである。しかしながら、これまでの行政主導の箱物に見られがちな、ハードにばかり視点が置かれるのではなく、利用者サイドに立った幅広く柔軟な運営が求められる。

先日、図書館運営を考えさせられる事があった。レポート作成のために文献をホームページ検索で調べ

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

求められる図書館運営とは

て、所蔵している県外の図書館に問い合わせをした。大学からの問い合わせや、提携している図書館からの問い合わせには対応するが、一般には対応していません。そこで、別の方法で文献を集められないか調べてみた。

一、県外大学の図書館の所蔵文献を、県内の提携図書館を通じて、取り寄せかコピーを送ってもらう。

二、県内大学の図書館でも、ホームページ検索で見つけられなかった対象文献があるか調べる。

三、県内の公立図書館で、対象文献があるか調べる。

結果、一は取り寄せには時間と費用(送料・コピー代)がかかる。直接見てい

るわけではないので、送られてきて初めて内容がわかるので、無駄がともなう。

二に関して、まずは国立大学ということで、金沢大学に聞いてみた。学外者にも利用を許可していた。しかし、駐車場が離れているのと、いったん図書館で、駐車場使用許可書"をもらって、車に置きに戻らないと

し出しも可能なところまであった。

三に関しては、県立図書館からの取り寄せの形式で、無料エリアと有料エリアがあった。有料エリアは取り寄せ期間は思ったよりも早かったが、取り寄せの送料支払いに"切手"を指定された。現金では駄目なのだろうか。

いけない。今の天候を考えると、やってられない"と思った。また、学外への問い合わせには対応してくれない。

私立大学も数か所聞いてみた。県内の提携図書館からの問い合わせには応えるが、一般人の利用はまったく駄目というところから、学外者でも図書館利用も貸

というところで、今回の文献集めは二、三の併用で対応することにした。

これだけIT化が進んでいても、広域な部分で図書館同士の横の連携や運営部分には、まだまだ、利用者サイドに立った観点が追いついていない。図書館の閉館時間にしても、午後七時から八時になっている。勤務

帰りの人が利用するには、せめて九時までを希望したい。

「昨日、郊外ショッピングセンターが十一時まで営業している時代である。人の生活時間が多岐にわたっている。もちろん人的な負担や経費増などクリアしないといけない問題はたくさんあるが、「できない」理由を考えるより、「どうやったらできるか」を考えていってほしい。

図書館の運営にはいろいろな意見したが、中で働いていらっしゃる方の対応には心温まるものがあった。本当に本を愛し、知識と誇りを持って対応しているのが伝わってきた。

「文化のまち」にふさわしい施設と運営を両輪とし、IT世代に担った図書館作りをしていっていただきたい。



先日、私の？回目の誕生日でした。誕生日を迎えるといつも思うのが、これまでの自分の歩みである。

学生時代は大学に行けなかったこと以外は、友人に恵まれ、楽しい学生生活を送っていた。就職はコンピュータ会社で、業界は伸び盛りで勢いもあり、残業もすごかったが、いろいろなことを吸収できた。また、仕事の合間を縫って、宴席、テニス、スキー、旅行と青春を謳歌していた。だから明日できることは、今日やらなかったし、一生懸命なんて言葉も言っばい感じで好きでなかった。

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

大きく人生観が変わったのは、二十五歳の誕生日を迎える直前に内臓の間にできた腫瘍が検査で偶然発見され、即入院、手術になった時。これまで人生はもちろんのこと、生や死なんて考えたこともなく、のほほんとした日々を送っていた私に衝撃的な事件であり、辛い誕生日だった。

その時誓ったのが、もしも元気に退院できたなら、与えられた命を一生懸命生きて、いつ死が訪れても思い残すことのない毎日を送ろうということだった。幸運なことに、腫瘍は良性で手術もうまくいき、手術直後の動けなかったのが嘘のように元気に退院できた。

で多くの人に出会い、育ててもらったお陰である。一昨年は夢のひとつである留学を一月ちょっとオーストラリアのパスで送られた。通常では仕事・家庭がなければ不可能であるが、周囲の協力もあり、行くことができた。向こうでも、HPでたまたま知った留学情報センターのマックスリ

って研究することになった。これも、カウンセラー研修の講師で来られていた南山大学の高橋先生との出会いがあったから、模索していた道が見え、受験に結びついた。仕事との両立は大変だけど、大きな夢だったのでがんばって一生懸命やりたい。

今年の誕生日は合格祝いと重なって、記憶に残るものとなった。やりたい。

誕生日を迎えて

入院したのは大きな病院だったので、毎日のように人が亡くなり、先天性や突発性も含め重症の方がほとんどだった。ショックだった。見える、聞こえる、話せる、歩けることが、どんなに大切なことか、普通に生活をしている人には考えられないだろう。自分がいかに恵まれた生活をしてきたのか思い知らされた。

それから、やらない後悔より、失敗してもやることによる学習。できない理由を考えず、どうやらできるかをモットーとし、行動することにした。

それで、会社を設立し経営者となったことで、いいことも辛いことも人一倍経験できた。今の自分があるのは、経営者となったこと

シンクのチッチさんや、まゆさんにずいぶん助けていた。だき、留学を堪能できた。また、今月からはずっと念じていた大学院に行けることになった。先日、名古屋の南山大学経営学部経営学科経営学博士課程前期に合格できた。産業心理学で経営者のジェンダー別ストレスを週一回、名古屋に通

来年の誕生日はどうしているだろうか？ 楽しみである。



今回は日本産業カウンセラー協会の中級産業カウンセラーの立場として書いてみようと思う。

昨今、日本の多くの職場はIT革命の進展やコンピュータネットワークの普及に伴い、ビジネス環境や労働者の働き方自体を大きく変えていっている。これまでのように、大学を出たら就職し、終身雇用制に守られ定年まで勤め上げ、後は年金で生活するといった青写真はなくなりつつある。このような不安定な時代になって、職場の中で精

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

神的な病気が増えている。例えば、「サイババル・シンドローム」に代表されるように、中間管理職の人たちがかりやすいものがある。会社の経営状況が少しでも傾き始めたりすると、「自分が会社に残ることができるのだろうか」と思い始め、夜も寝られなくなり、精神的に不安定な状態に陥る。また、部下の管理責任や目標数字達成など業務の中心的役割を果たしているのに、経営上の問題は自分の責任と認めてしま

名である。業務効率化で職場に一人一台のパソコンが導入され、それらがネットワークで接続されたことにより、会話があらゆりにできた履歴も、電子メールではいい悪いも記録としてすべて残ってしまう。コンピュータを使える人はいいが、使えない人との

も休職をするということも繰り返すし、そのまま退職を余儀なくされるケースが少なくない。これは休職者が職場に復帰させるノウハウが職場側に乏しいからである。産業カウンセラーが、本人や主治医、職場の産業医、上司らの意見を聞きながら復職後の職務内容を検

故などによる労働力損失のコストは大きく、職場にとって貴重な資産である労働者一人一人の悩みやこの問題が仕事へ影響を及ぼすという可能性は、もはや軽視できない状況である。福利厚生ではなく、経営戦略として取り組むべき課題のひとつであり、「産業カ

産業カウンセリングの必要性

ウンセリングの活用が不可欠な時代になってきて

いる。新たな人事管理の時代である。



日本産業カウンセラー協会 産業カウンセラーを中心として組織されている社団法人。また、産業カウンセラーは、職場でカウンセリングを行う専門の知識を持ったカウンセラ

うことも多いからである。職場のハイテク化・OA化に伴う心理的問題の中には、「テクノ恐怖症」「テクノ依存症」「インターネ

ット・ストレス」などが有

さらに、不況によるストレスが追い討ちをかけている。ストレスが原因で体調を崩すなどで休職後、同じ職場に復帰したために、また

労働者の効率低下、欠勤や事



皆さんはどれくらいバスを利用していますか？
私ができるだけバスを利用するようにしていますが、天気によってあえなく車に頼ってしまつてことが、けっこうあります。
マイカーに乗っている人にはちよつとじやまな、バス専用レーンも増え、渋滞の時間帯でも時間通りに来るようになってきています。バス停にはバスが近づいてくるのがわかる表示も設置され、以前のようにいつ来るのかわからず、いらいらせずに待てるように

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

なりました。
排ガスによる環境問題や道路設備にかかる莫大な費用と市街地の活性化対策の足がかりとなるバスの利用が増えていないのは、いくつかの理由が思い浮かびます。例えば、バス停。雨や雪の日は傘以外に自分をカバーしてくれるものがないバス停が多く、屋根があっても申し訳程度だった

バスに乗っていただけますか？

乗ればいいのかわかりません。観光客などはどうしているのでしょうか？ 観光地としては自負があるまちとしては不親切なことでは。都市圏の地下鉄やJRのような駅とは言いませんが、今のバス停を考えると、天気の悪い時に利用するには、けっこう気力と労力がいり、横にフードがなかったり、本人だけでなく持っている荷物も濡れてしまいます。また、道路を走っている車の跳ね上げに運悪くさらされることもありま

行政や商店街の連携による香林坊・武蔵間ワン・コイン運賃のさらなる拡張が望まれます。
また、パースでは降りる人が必ず「サンキュー」と言って降りることに、忘れていた感謝の気持ちを思い出させられました。私が通常乗るバスも学校が近辺にす。混んでいる時も一人用のシートを一人で占領している、携帯電話使用禁止のアナウンスが流れていてもおかまいなし、後部座席をおかまいなし、後部座席を陣取り集団で大騒ぎ、飲食も平気で後片付けもしていない。かといって若い人だけを責められない光景も多く、恥ずかしいことですが、大人でも同様の人がけっこういます。

これから導入予定の新公共交通システムも踏まえ、環境や財政問題や市街地の活性化だけでなく、個人主体の社会の中で集団の一員としてのマナーを学ぶ場としても、バスは重要な機関であり、場所ではないでしょうか。

片町・香林坊などはバス停が拡散しており、地元の私ですら、どのバス停から



来年の秋に開館予定の金沢21世紀美術館を皆さんもご存知だと思います。場所は金沢大学付属学校跡地で、金沢の中心市街地であり、向い側の県庁跡地を含め、大きく姿容をこげつつある場所です。

説明がいらすには「と見えて美しい」、「安らぐ」というものには価値基準がない芸術素人の私には、21世紀美術館がメインにすえる現代美術は、正直言って価値がわかりにくい部分のある世界でした。今回機会

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

金沢21世紀美術館

があつて「現代美術のオリ
ンピック」と称されるベネ
チア・ビエンナーレやビル
バオのグッゲンハイム美術
館などを訪問してきまし
た。それも金沢21世紀美術
館建設事務局学芸課長で、
今回のビエンナーレ日本館
の総合コミッシヨナーの長

最初のころは現代美術にあ
まり詳しくないためか、展
示されているものに作品と
して理解できなかったり、
「？」が目の前に並ぶもの、
拒絶反応すら示すグロテス
クな作品に、価値がわから
ないものもありました。

どうなのかを自分の解釈レ
ベルで捕らえていくと現代
美術の面白さがわかってき
ました。

食わず嫌いでではなく、激
変するこれからの社会を生
きていくには、創造性や感
受性の幅を広げる必要があ
ります。いろんな分野の、

ところが説明を聞いてい
るうちに、作品のもつてい
るメッセージが重要なのだ
ということがわかると、不
思議と素人なりに作品に興
味がわき、作品と対峙して
いる自分があるのです。哲
学的なメッセージも作品の
どこに生かされているの
か、そのメッセージ自体が

どうなのかを自分の解釈レ
ベルで捕らえていくと現代
美術の面白さがわかってき
ました。

食わず嫌いでではなく、激
変するこれからの社会を生
きていくには、創造性や感
受性の幅を広げる必要があ
ります。いろんな分野の、

んでいて、街の活性化の見
本のような建物です。古く
からの造船の小都市ビルバ
オの持つ街のイメージとは
かなり離れた「金属製の花」
をイメージしたチタン仕上
げの巨大な未来派彫刻のよ
うな外観にもかかわらず、
昔からある橋や川などをす
ましく利用し、古くからある
ものと感動すらおぼえるほ
どの一体感を醸し出してい
ます。古い街並みと兼六園
や金沢城をもつ金沢市にと
って、まさに新旧融和の先
生のようでした。

谷川さんの現地同行解説付
き。他にも芸術や街づくり、
建築の専門家の方々も一緒
に行かれたので、現代美術
に関する価値観が大きく変
化しました。

展示場には美しいもの
や、なるほど感じる作品
もたくさんありました。が、

それ、「いいもの」に触れ
ることにこの21世紀美術館
の存在意義の一片があるの
ではないでしょうか。

街の活性化に対しても考
えさせられたのは、ビルバオ
のグッゲンハイム美術館。
二十六万人足らずの街に年
間八十万人の観客を呼び込
む

それ、「いいもの」に触れ
ることにこの21世紀美術館
の存在意義の一片があるの
ではないでしょうか。

街の活性化に対しても考
えさせられたのは、ビルバオ
のグッゲンハイム美術館。
二十六万人足らずの街に年
間八十万人の観客を呼び込
む

んでいて、街の活性化の見
本のような建物です。古く
からの造船の小都市ビルバ
オの持つ街のイメージとは
かなり離れた「金属製の花」
をイメージしたチタン仕上
げの巨大な未来派彫刻のよ
うな外観にもかかわらず、
昔からある橋や川などをす
ましく利用し、古くからある
ものと感動すらおぼえるほ
どの一体感を醸し出してい
ます。古い街並みと兼六園
や金沢城をもつ金沢市にと
って、まさに新旧融和の先
生のようでした。

体感したことのないあふ
れるばかりの刺激や創造性
を、金沢21世紀美術館が私
たちに提供してくれるのを
心待ちに、来年秋の開館を
待ちたいと思います。



女性がどんどん社会進出をしていますが、肉体的だけでなく精神的にも違うことを把握し、理解する必要があります。そのため、いつまでもたっても「だからオンナは『オトコっていいのは』と、職場で進歩のない論争をしています。男性も女性も『ジェンダー』（男女の歴史的・社会的な性差）の理解が中途半端なため、ストレスをためることになり、女性の社会進出がなかなか進まないように見えま

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

す。
ジェンダーがわかる例をあげてみます。女性の上司がいたとします。部下が他の人に暗い顔をして「上司は女性だから……」で、大方の人はそれですべてがわかったように「大変だね」と応えます。反対に「上司は男性だから……」では、相手はその人が何を言いたいのか推測は難しいでしょう。これは顕著な例です。他にも、総合職の女性登用が盛んに行われましたが、ほとんどが失敗しています。これは女性の精神構造を、職場だけでなく本人もともに理解していなかったからです。一般論ですが、女性は群れて行動すること

職場の中のジェンダー

よりの、「他の人と同じ」という安心感を持ちます。つまり、仕事ができるといっても管理職という名の下の女性の同性間での別扱いは、職場の中で管理職となった女性の孤立を生み出します。逆に、男性は同期入社でも年齢の上下が逆

自分以上を認めたとし、自分をそれだけ認めたとして「どうして?」「なんで?」というストレスを抱え込まなくてもよくなります。しよせん世の中は男性と女性しかいないのです。違いを楽しみながら真の男女共同参画の職場を創出していきましょ。

男性は「就社」し、女性は「就職」と言われています。このようにDNAに組み込まれた精神構造を互いに理解していくことが意外になされていません。ジェンダーを認識し把握できていれば、男性社会の組織だけでなく女性社会の組織でも、女性が上司で



コンピューターウイルスが猛威を振るっている。仕事だけでなく、家庭でもコンピューターの普及は目を見張るものがあり、当たり前のように身近にコンピューターが存在するために被害が広がっている。それなりにコンピューターがわかる私でも、対処方法がわからなかったり処理に振り回されたりして、意外と時間がとられる。他の人はどうやってコンピューターのトラブルや疑問を解決しているのだろうか不思議に思う。

コンピューターはハード

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

コンピューター業界のサポート

もソフトも「秒進分歩」で変革している。ぶっちゃけた話、特許の塊で他社とちよつとも差をつけようとしているコンピューター業界が、一握りのOS(基本ソフトウエア)とソフトで世界中同じに稼動すること自体、奇跡だと言える。だから、多種多様な組み合わせの中でトラブルは日常茶飯である。ちよつと新しいプログラムをインストールしたら、他のものが動かなくなつたとか、訳のわからないエラーがでるようになったとか、変な動きをするようになったなどは、ほとんどの人が経験済みではないだろうか。

契約しているサポート会社や社内のコンピューター担当が対処してくれるなら、問題ないかもしれないが、通常は何かあった時に、知り合いのコンピューターをよく知っている人や購入先に助けを求めているようだ。

各コンピューターのハードもソフトの会社も、サポート窓口を持っている。しかし、電話をしても話し中

でも、電話はフリーダイヤルではなく、ユーザー負担の電話で、別にユーザー登録をしていないと受け付けてもらえず、電話も話し中が多くなかなかつながらない。サポート契約切れは自動で知らせてくるのに、コンピューターの会社でありながら、毎年細かい

もらった方が親切である。揚げ句にちよつとながっても、ひとつ聞くと調べるために保留になり、遅々として前に進まない。

これに対して、休日や夜も対応してくれ、待ち時間予測もアナウンスしてくれ、言葉遣いも丁寧で、技術的にもしっかりと対応してくれるメーカーも多数ある。

ちよつとユーザー情報を自分で手書きで記載して契約更新をしなければならぬ。

また、ある会社はナビダイヤルという課金システムになっているが、課金にもかかわらず順番待ちのアナウンスが流れ、いつ担当が来るかわからない中、待つこと三十分以上がざらにある。それなら話し中にして

でまったく通じないとか、メールとファックスのみしか受け付けないとか、問い合わせ窓口が記載されていないなんてたらいまわしになるとか、すぐに対応してほしいけれどもにっちもさっちも行かない状態になることがよくある。

例えば、世界的なメーカーで高価なサポート契約を



インターネットが普及し、これまで想像したことのない世界の出現で、ネット世界にとっぷりつかっている人、狭間で迷っている人、拒絶している人と多様な社会現象が起きている。

想像したことのない世界と言えば、たとえば「ネット自殺」。自殺志願者がネット上で一緒に自殺してくれる人を募集し、見ず知らずの人間が実行日に初めて会い、一緒に自殺する。これまで考えられなかった現象で、増加に有効な歯止め

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

策がないのが現状だ。どっぷりとなると私も近いかもしれない。友人との会話も含め、検索(書物・情報)・予約(図書館・チケット・交通機関・宿泊・プレゼント)・連絡・打ち合わせ・銀行手続き・ショッピング・事務処理を数台のコンピュータで行っている。外出時にもモバイルコンピュータにPHSを接続し、遠隔操作で事務所と同じ環境で作業をしている。

販売をやっている方々も狭間にいる。ネット上で成功している同業他社を見聞きすると、遅れを取るのではと考えるだろうが、今までの販売の仕方との並列進捗はなかなか難しい。コ

ネット社会の中で

ンピューターに強く、これまでの商法とは違うネットビジネスに明るい人材が社内にはいないのもネットになっている。景気低迷と販売手法が激変する中、思い切った切り替えが必須となっている。人材や店舗を大胆にリストラしネット商法に転換するか、対面販売

仕入重視をさらに強化して差別化をはかるか、経営者に重要な選択肢として迫っている。

拒絶組は、携帯も持たなく販売も経験と知識を駆使した勘ピューターで、生活もあくまで自然志向である。正直言って、本来の人間がもっている力で生きて

いこうとしているうらやましい世界だ。アナログでいてほしいところもある。社社のおみくじがネット上となると、ありがたみがどうしても欠けてしまふ。

逆にネット活用をさらに推進してほしいところもある。先日、夜、新幹線が不

屋で泊まらないといけないのか、金沢まで帰れる列車があるのかも悩めない。乗客が駅員に詰め寄るシーンも見られたが、これだけ情報不足なら理解できると思ってしまった。人のよきそ

うな駅員さんたちが乗客の問い合わせに一生懸命情報収集をしようとして、電

話”にかじりついてる姿がいやに時代遅れの感があった。こんな時こそネット活用の場である。

これから良くも悪くもネット社会は加速度的に促進されていく。販売も消費者も社会生活でも振り回されずにいかにもうまく活用し制御していくのか、二十一世紀の課題ではないだろうか。



組織や人間関係はジェンダーが絡んでいる事柄が多いので、その研究をしている私は「セクハラ」を含めたジェンダーの奥深さに、今、魅了されています。

よく「存知だ」と思いますが、セクハラ(正式名称・セクシュアルハラスメント)とは、「性的嫌がらせ・性的おびやかし」のことです。時・場所・相手を問わず、相手に不愉快にさせる性的な言動のことです。

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

男性側からすると、善め 事をあげるから」と触るな ているつもり言葉「色っ どていつのは論外ですが… ぼいね」スタイルいいね」 …。

とか、世話を焼いているつ もりの言葉「結婚はまた？」 「嫁の貰い手がいないよ」「子 どもできたよ」も、言われ た本人が嫌な気持ちを受け れば「セクハラ」となりま す。

女性側も似 たような言動 をしていま す。それなのに、なぜあま り問題にならないのか？

取る側の意識の問題、つま りジェンダーの違いが根底 にあるからです。このこと にあまり気がつかなくて、 互いに歩み寄りができない 「セクハラ論争」がおこっ ています。もちろん、「仕 事をするから」と触るな

男性は自分の種族保存の ために幅広く相手を求めま す。だから、男性は異性へ の守備範囲が広くなりま す。女性は一人の相手の子 どもしか産めませんので、

微笑まれたとします。男性 は「俺に気があるのかな」と、悪い気はしません。女 性は「気持ち悪い人」と拒 絶反応を持つという差で す。同じように、職場でA 子さんの肩をポンと触って 「今日もきれいだね」と 言ったら、A子さんにうれし

好意の対象から外れたから です。この点も男性は理解 できず悩むところです。 他にも職場に女性のヌー ド写真が貼ってあると、女 性は自分が裸にされている ような嫌悪感を持ちます。 逆に昨今流行の男性のヌー ドが張ってあったら男性は 不快感を持ち ませんが、そ の女性を「変 な人」と取り

男のセクハラ・女のセクハラ

相手特定しなければなり ません。その結果、異性か ら「性の対象」に見られる とアメリカで行われた調査 では、男性の77%が得意、 屈に思っている、女性は64%が、屈辱を感じてしまっています。 たとえば、喫茶店を向い う側に座っている人から、

そのような表情をされるBさん と、「嫌ーセクハラ」と ならまわるCさんが生み出 されます。さらに最初はう れしそうに見えたのに、突 然Aさんから「セクハラ」と上司に訴えられ、Bさん はびっくります。これは、 A子さんから見ればBさんが

このように互いにジェン ダーを理解していない言動 が、相手を不快にさせ、セ クハラ」と捉えられて不幸 な結果になってしまいま す。男性だけがではなく、社 会進出が活発な女性も、用 心を…。



働いている人の「第二の勤務」を、ご存知ですか？
アメリカのアーリー・ホックシールドという家族社会学の専門家が、共働きの人たちの家事や育児を「セカンド・シフト(第二の勤務)」というタイトルで出版した本があります。一九九〇年に初版が出版されていますが、その当時のアメリカ社会の共稼ぎ世帯の実態が現在の日本にそのままあてはめられ興味深い本です。この本は、女性サイド

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

働く人の「第二の勤務」

に立った第二の勤務の「農藤」が書かれています。私はもう少し違った角度で見なければ、これからの社会は成り立っていかなくなっていると感じます。

昨今、少子化が深刻な問題になり、また離婚率も未婚率も増加していますが、

女は仕事と家庭に移行し、核家族化が追い打ちをかけ「男女とも仕事と家庭」という新たな役割が成立してきました。もちろん残念ながら、まだまだ男

は仕事、女は仕事と家庭」を基にした職場や家庭が多いのが事実です。そうなら

疲れて帰ってきているのに、「夜の勤務」である家事・育児をこなして、倒れこむように眠りにつく生活……。

仕事も家事も育児も、疲れたとか、他の事が忙しいからといって、休むわけにはいきません。仕事・家事

「第二の勤務」が要因として大きな部分を占めていると言えます。

職場と家庭は、長い間男は仕事、女は家庭」という役割分業の中で、環境と文化ができてきた。そこに女性の有職率の高まりとともに「男は仕事、

てくると、朝は早くから起きて、「朝の勤務」としての家事・育児をこなし、「次の勤務」の職場に出かける。不景気とIT化で激変する社会情勢で仕事量は増え、

気の休まる暇もなく、帰宅時間を気にしながら仕事をし、大急ぎで帰宅。今度は

・育児をバランスよくこなすことは難しく、どれかは犠牲になってしまっている人がほとんどでしょう。働く女性が「奥さんがほしい」と言う声をよく耳にします。共稼ぎや未婚率が増え

ていき、近い将来、男性も妻とは別の意味で「奥さん

がほしい」と冗談とは取れない会話が交わされるのではないのでしょうか。

一人の収入では生活が難しく、将来の不安もあり働きに出なければならぬ女性と、自己の生きがいのために働きたい女性が、有職率をさらに上げていきます。第一線で働く人でも第二の勤務(家庭・育児・介護)をもつのが当たり前になってきます。さらに少子化対策や介護問題も深刻な状況になっていきます。

職場も家庭ももちろん行政や地域も含め、今の時代にあつた環境作りをしなければ、皆、第一と第二の勤務で疲れきってしまいます。